

学校教育目標 瞳かがやき 心はずませ 夢に向かって本気でがんばる岩美西小っ子の育成  
— 志をもち、ふるさと岩美町を愛する子 —



## <重点的な取り組み>

### 1 目標の共有

#### ○岩美西小っ子プロジェクト 2019「徳 知 体 信」の実施

本校の強みである豊かな自然、地域のとのつながりを大切にした教育活動の展開

#### ○学校教育目標の把握 個々のキャリアを意識した働き方

教職員一人一人が描く学級像・教師像 授業像を明確にする 成長し続ける教師

#### 「信」ふるさと岩美町・・・地域に信頼され、地域と共に歩む学校

- ・学校と地域、双方向にメリットある教育活動の展開  
ふるさと岩美町（校区の）の人的、物的教育素材を有効に活用しながら、地域に根ざした特色ある教育活動を展開する。コミュニティースクールへ（学校支援本部）
- ・学校種を超えて連携 スクラム教育の継続と町教育研究会の取り組み
- ・人材バンクの見直しと人的、物的教育素材の整理
- ・地域連携協働一覧表の確認
- ・学校行事や日々の教育活動等において地域を巻き込んで取り組む体制（ともに歩む）

### 2 学力向上

#### 「知」本気でがんばる・・・学力の定着と向上

各種のテストにおいて数値的には全国、県平均並みの正答率であるが、決して良好とは言えない。正答分布を見れば、学力の二極化、ばらつきが低学年から見える。また、質問紙調査等で「算数が好き、国語が好き、授業が楽しい、よくわかる」等々の項目において肯定的回答がかなり低い。学びに向かう意欲や姿勢で課題が明らかになってきた。

- ・児童のつまづきや学習の評価についての研究
- ・「授業を変える 今の授業で大丈夫？」  
授業改善部会と課題解決のための対策部会
- ・学校生活向上と学習に取り組む姿勢を  
問う「西小がんばりカード」の実施（月 1 回実施）

#### 【学力指標】

全国学力学習状況調査、CRT、  
県学力診断テストにおいて  
全国平均 県平均を上回る

### 3 児童の生活向上

#### 「徳」瞳かがやき 心はずむ・・・豊かな心育成

#### 「体」夢に向かって・・・種々の運動にチャレンジ

児童一人一人が安心して安全に過ごせる学校 いじめや不登校、問題行動のない学校をめざす。自尊感情の低さ、学校不適応、対人スキル等、多くの課題を認識し、豊かな心を育成する中で、居心地の良さを感じとれるような学校風土を創っていく。

- ・家庭学習の手引きの有効な活用 一人一人に目標を明確に持たせ計画的に学習する習慣を身に付

けさせる。

- ・校内生徒指導委員会、不適応対策委員会、教育相談など、児童理解と諸問題の未然防止及び早期解決に向けて組織で対応する。「**新たな不登校を生まない**」個別の支援計画、指導計画の見直し
- ・特別支援教育に関する正しい理解と教育支援体制の構築及び保護者啓発。
- ・学校生活振り返りアンケート（月1回実施）児童を語る会の実施（職員会後）
- ・柔軟性を高めることに重点を置いて学校全体で体力向上に取り組む。
- ・日々の健康管理と安全意識の高揚を図る 基本的な生活習慣と学校内外のルールの遵守
- ・水泳、陸上、駅伝を中心として目標設定をもとに運動への意欲を喚起し、継続的な練習を促す。  
毎朝の運動 柔軟性を高める  
ワンミニッツエクササイズの実施（長座体前屈の記録の集積）
- ・生活自己点検を定期的実施し、健康管理と安全な生活を心がけるよう家庭啓発に努める。

**不登校、学校不適応への対応**  
**【数値目標】 不登校2人、欠席日数**  
**(7~29日、9人) 出現率**  
**昨年度比7.4%を下回る**

#### 4 校内研修の充実

教員自身の自己研鑽の上に立って、組織として、校内研修・県内研修・県外研修に意欲的に参画・参加できる体制を整えていきたい。また、ベテランや若手の先生を含め、誰もがミドルリーダーとしての自覚をもち、範を示していきたい。

- ・職員研修の充実（毎月1回45分）課業日の放課後 ネット教育研修シリーズを活用して
- ・校内授業研究会（教科は算数）

#### 5 管理職の目標管理と指導（面談 授業参観 校務遂行）

< **新**教職員評価育成制度 能力評価と業績評価 >

人事評価は、職員がその職務を遂行するにあたり、発揮した能力を把握した上で勤務成績の評価である「**能力評価**」と、職員がその職務を遂行するにあたり挙げた業績を把握した上で行われる勤務成績の評価である「**業績評価**」の両面から行うものとする。

- ・学校の使命は子どもにしっかりと学力と心を育てることである。  
児童が安心して過ごせる居場所があれば、また、学級がそのような心地よい場所であれば、どの子どものびのびといろいろなことに意欲を持って取り組めるであろう。
- ・子どもと向き合う時間を増やす取り組み及び
- ・教職員の和・輪を大切にしていきたい。職員室が先生方の居場所となるように  
また、語らいの場となるように。

勤務時間外の勤務時間縮減への取り組み  
**【数値目標】**  
各自昨年度実績に対し5.6%縮減を  
目標

#### 6 本年度特に取り組むこと

- 1) コミュニティスクール化に向けて
- 2) 学力向上 特に授業の質を高める取り組み
- 3) 学校不適応（気になる児童）へのきめ細かな対応
- 4) 土曜授業5回の内容 統一性、学力向上に重点を置いた取り組みとなるように